



開業から37年、地域にとってなくてはならない存在である。評判を聞いて他県から治療に通う患者さんもいるそうだ

見学会の案内



他の友達がどのように矯正治療をしているのかを実際に見ることができる見学会も月に1度実施。お気軽に見学に出かけてみては。日程はHPに記載。

6月14日(水)
7月19日(水)を予定

「美人にしましよう、美男子にしましよう」と思いながら治療するんですね」と話すのは院長の佐藤孝明先生。「治療にきた子は、自分の歯並びが目立たないよう口を開けるんです。小さくてもコンプレックスがあるんだね。」
「でもそんなこと

の邪魔にならずにすむ。他の子さんに気つかれることがないので、お子さんの気持ちの負担も軽くなるだね」。 「美人にしましよう、美男子にしましよう」と話すのは院長の佐藤孝明先生。「治療にきた子は、自分の歯並びが目立たないよう口を開けるんです。小さくてもコンプレックスがあるんだね。」
「でもそんなこと

しまへじよよ、つて話すんですね」と話すのは院長の佐藤孝明先生。「治療にきた子は、自分の歯並びが目立たないよう口を開けるんです。小さくてもコンプレックスがあるんだね。」
「でもそんなこと



1ビムラーは一人ひとりのオーダーメイド。樹脂部分にラメをあしらっておしゃれ仕様にもできる 2夜間使用するビムラーは取り外せるので、食事の時はもちろん学校にいる時も外して過ごせる。歯磨きもしやすいので虫歯のリスクも少ない 3ビムラーは奥歯に装着して口の中の高さを作るネオキャップと同時に使用する 4ビムラーのケースにお子さん自身でデコレーションをして、矯正治療を楽しんでいる

受け口とは、上の前歯より下の前歯が前に出ている状態。そのままにしておくと、見た目だけでなく咀嚼や発音発声、顎関節にも影響が出る可能性が指摘されている。遺伝が理由の場合もあるが、いずれにせよお子さんの舌の動きが未熟であることが歯並びの問題を起こしているといえる。佐藤歯科矯正歯科医院で行う矯正は、お子さん自身の成長発育の力を利用する、「痛くない矯正法」。「ネオキャップ」と「ビムラー」という装置を組み合わせた機能的矯正なのである。

受け口とは、上の前歯より下の前歯が前に出ている状態。そのままにしておくと、見た目だけでなく咀嚼や発音発声、顎関節にも影響が出る可能性が指摘されている。遺伝が理由の場合もあるが、いずれにせよお子さんの舌の動きが未熟であることが歯並びの問題を起こしているといえる。佐藤歯科矯正歯科医院で行う矯正は、お子さん自身の成長発育の力を利用する、「痛くない矯正法」。「ネオキャップ」と「ビムラー」という装置を組み合わせた機能的矯正なのである。

抜かない、痛くない 負担のない矯正法

まず奥歯にプラスチックの一種であるレジン製のネオキャップといわれる装置を取り付けて、噛み合わせを整える。取り外しはできないが、本来の歯の色に近い素材なので目立たず、付けていることで噛み合わせが自然な位置に整っていく。あわせて就寝時に、口の中にはめ込むビムラーという矯正器具を装着。

ビムラーをつけていることが自然に舌の筋肉のトレーニングになり、歯並びの成長を促していくそうだ。バランスを整えながら、上あごの成長を促していくそうだ。お子さんは前歯の永久歯が生まれ変わり始める6歳から10歳までの比較的早い時期。成長発育を利用するので、自然な矯正治療が可能になる。ビムラーは脱着可能。寝る時に装着するだけなので学校生活



5定期的に通うことで、先生ともすっかり仲良しに。信頼関係が出来ると治療もより順調に進む 6メンテナンスは1ヶ月に1度。矯正治療の経過を確認しながら歯の磨き方や口の中のケアを指導する

「成長する力」を利用して、受け口を矯正 「子どもの歯」が残っているうちにが治療の好機